

令和5年度
(2023年度)

要覧

OKAYAMA
PREFECTURAL
LIFELONG
LEARNING
CENTER



みんな仲間だよ！
(ぱる)

壮

少

老



岡山県マスコット「ももっち・うらっちと仲間たち」



三学ぱる岡山
岡山県生涯学習センター

岡山県生涯学習センター全景



人と科学の未来館サイビアマスコット
「サイビィ」

Contents

1 運営の基本方針	1
2 概 要	
1 組 織	1
2 沿 革	2
3 建設概要	3
4 施設概要	3
5 施設配置図	5
3 令和5年度事業体系	6
4 令和5年度主な事業計画	
1 人材育成	7
2 学習情報の発信	8
3 「学び・交流の場」としての機能充実	8
4 市町村・公民館支援、調査研究	9
5 科学教育の推進	9
5 令和4年度事業実績	
1 人材育成	10
2 学習情報の発信	12
3 「学び・交流の場」としての機能充実	13
4 市町村・公民館支援、調査研究	13
5 科学教育の推進	14
6 施設設備の利用状況	15
7 生涯学習情報提供システム（ばるネット岡山）	15
8 学習相談件数	16
9 視聴覚コーナー	16
10 視聴覚教材コーナー	16
11 図書・ブラウジングコーナー	16
6 関係条例及び規則	
岡山県生涯学習センター条例	17
岡山県生涯学習センター条例施行規則	19
施設等利用料金表	20

1 運営の基本方針

岡山県生涯学習センターは、県民の生涯にわたる学習活動の振興を図るため、県の拠点施設として、「第3次岡山県教育振興基本計画」等を踏まえ、市町村や関係機関などとの連携を図りながら、次の事項を重点として運営する。

特に、持続可能な地域づくり、つながりづくりを目指し、生涯学習指導者等の地域人材の育成、調査研究、情報発信などの機能強化に努めるとともに、「少・壮・老」の三世代の県民が、仲間（ばる）として、楽しく学習や交流ができるゾーン（「三学ばる岡山」）づくりを進める。

令和5年度取組の重点

① 地域の課題解決の中核となる人材の育成とネットワークづくり

- ◇地域課題に対する講座の企画・立案から実践までできる人材の養成
- ◇社会教育関係者の事業推進に係る資質能力の向上とネットワークづくり
- ◇若者が主体的に地域づくりに取り組める力の養成とつながりづくりの支援

② 生涯学習情報の積極的な発信と学習支援

- ◇生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」の効果的な活用及び情報提供
- ◇多様な主体と連携した生涯学習大学連携講座の充実
- ◇企業の地域貢献活動を支援するためのプログラムの作成・登録

③ 「学び・交流の場」としての機能充実

- ◇県内文化・社会教育施設をキャンパスとした新たな学びの創出
- ◇実践の機会や場、出会い・交流の場の提供
- ◇義務教育段階の基礎的な学習の学び直しの場の提供

④ 市町村・公民館活動の支援と調査研究

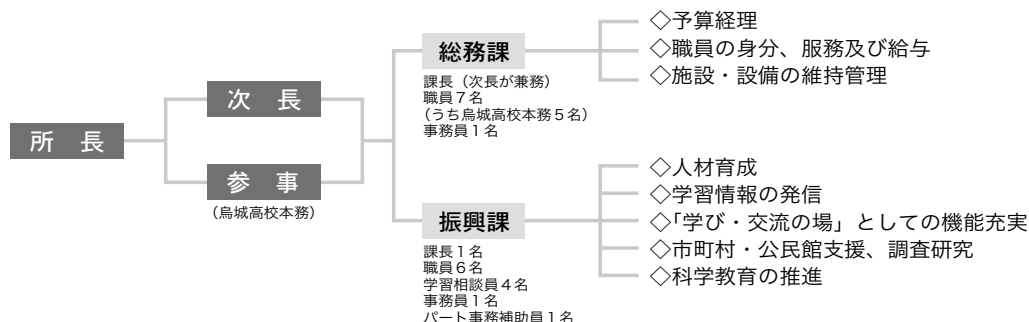
- ◇地域の課題解決や諸事業のコンサルティングによる市町村支援
- ◇持続的な地域づくりを担う公民館活動の活性化の取組
- ◇研修の開催及び市町村での研修機会の整備充実による公民館長及び職員の資質能力の向上
- ◇社会教育に関する現代的な課題等について調査研究を行い好事例集を作成・配布

⑤ 科学教育の推進

- ◇人と科学の未来館サイビアの運営支援（指定管理者事業実施）
- ◇JAXAとの連携

2 概要

1 組織



2 沿革

平成2年1月	中央教育審議会が文部大臣に対し「生涯学習の基盤整備について」を答申。 この中で、地域の生涯学習を推進するための中心機関となる「生涯学習推進センター」について、都道府県が設置することが適当である旨を答申した。
平成3年4月	第4次岡山県総合福祉計画の中で、学習情報の提供、学習相談、指導者の養成等を行う生涯学習推進センターの必要性及び単位制高等学校の整備を進めることが述べられた。
平成4年3月	岡山県生涯学習推進会議が、「岡山県における生涯学習推進の基本的な考え方」についての意見具申の中で、県の生涯学習推進の中核施設である「生涯学習推進センター」の早急な整備を求めた。
平成5年3月	岡山県立短期大学跡地に、生涯学習推進センター（仮称）と単位制に改編する県立鳥城高等学校を一体的に整備する「生涯学習推進センター（仮称）整備基本構想」策定
平成6年3月	「岡山県立短期大学跡地整備基本計画」策定
12月	「岡山県立鳥城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）基本設計」完了
平成7年3月	「岡山県立鳥城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）実施設計」完了
11月	建設工事着工
平成8年12月	岡山県生涯学習センター竣工
12月	12月議会において「岡山県生涯学習センター設置条例」制定
平成9年1月	同条例施行、機関設置
2月	岡山県生涯学習センターオープン記念式
2月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」稼働
5月	岡山県生涯学習大学「のびのびキャンパス岡山」開設
平成10年2月	「県立鳥城高等学校・県生涯学習センターの一体的運営に関する委員会」発足
10月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」が岡山情報ハイウェイに接続され、インターネット上で情報提供開始
平成12年6月	岡山県公民館連合会事務局を県教育庁生涯学習課から移管
平成12年度	文部省委嘱事業「生涯学習ボランティア推進フォーラム」、「キャリア開発学習情報提供推進事業」実施
11月	岡山県生涯学習推進中核施設連絡協議会を設立
平成13年3月	国庫補助「情報技術学習環境整備事業」によりパソコン教室2を整備
平成14年2月	岡山県生涯学習センター開所5周年記念事業を実施
3月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
4月	「おかやま長寿学園」を「岡山県生涯学習大学」に統合
4月	情報・創作棟4階 資料室をパソコン教室2として供用開始
6月	岡山県公民館連合会発足50周年に伴う記念事業を実施
7月	岡山県体験活動ボランティア活動支援センターを設置
平成17年4月	生涯学習・社会教育担当者向けの研修をリニューアル
平成18年3月	岡山県生涯学習推進施設中核施設連絡協議会を解散
11月	「まなびピア岡山2007」プレフェスティバルを開所10周年記念事業と兼ねて開催
平成19年2月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
4月	施設設備の維持管理業務及び施設等の利用許可業務等一部の業務に指定管理者制度を導入
4月	情報・創作棟4階 パソコン教室2をミーティング室4、データ入力室をパソコン教室2として供用開始
11月	「まなびピア岡山2007in 三学ばる岡山」を開催
平成20年11月	池田動物園、県立児童会館、岡山県生涯学習センターで連携し「京山キッズゾーン」を立ち上げ、「第1回京山祭」を開催
11月	「おかやま学びフェスタ2008」を開催
平成21年4月	情報課を振興課に統合し新しく振興課とする。
平成23年3月	県立児童会館閉館
平成23年9月	「岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）整備基本計画」策定
平成24年4月	「岡山県生涯学習センター運営協議会」設置
平成24年5月	「岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）専門委員会」設置 （のちに「岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア専門委員会」に名称変更）
平成24年6月	岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）建設工事着手
平成24年10月	新施設の名称が「人と科学の未来館サイピア」に決定
平成25年3月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア竣工
平成25年4月	施設設備の維持管理業務及び施設等の利用許可業務等の一部の業務に、人と科学の未来館サイピア及び児童遊園地の運営業務、喫茶棟の利用促進業務を加えて指定管理業務を開始
4月	情報・創作棟5階 教材制作室をミーティング室5として供用開始
4月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア開館
平成26年4月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者10万人達成
平成27年2月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者20万人達成
平成28年度	岡山県生涯学習センター開所20周年記念事業を実施（11月・2月）
平成29年8月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者50万人達成
平成30年2月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
平成30年4月	岡山県生涯学習センターの指定管理者更新
平成31年2月	情報・創作棟の耐震工事竣工（平成30年7月着工）
令和元年11月	岡山県生涯学習センター困障改修工事（1工区、2工区）竣工（令和元年7月着工）
令和2年4月	情報・創作棟4階 パソコン教室1を中研修室、パソコン教室2をパソコン教室、情報・創作棟5階編集室をミーティング室6、録画・録音スタジオ及び調整室をスタジオ及び控室として供用開始
令和5年4月	岡山県生涯学習センターの指定管理者更新

3 建設概要

敷地面積 45,010㎡

建築面積 7,566㎡

延床面積 14,320㎡

構造規模

交流棟／鉄筋コンクリート造2階建 学生食堂／鉄筋コンクリート造平屋建
 情報・創作棟／鉄筋コンクリート造5階建 喫茶棟／鉄骨造平屋建
 講義棟／鉄筋コンクリート造5階建 公衆便所／鉄筋コンクリート造平屋建
 体育館／鉄筋コンクリート造2階建
 人と科学の未来館サイピア／鉄筋コンクリート造2階建
 駐車場／鉄骨造、アスファルト・芝生舗装

4 施設概要

建物	階別	室名	面積	定員	主要設備内容
情報・創作棟	1階	視聴覚室	261㎡	72人	ハイビジョン対応のプロジェクター、その他各種映像再生機器
	2階	大研修室	261㎡	150人	液晶プロジェクター、簡易ステージ、DVDビデオデッキ、演台、ホワイトボード、スクリーン
		ミーティング室1	28㎡	18人	ホワイトボード
		ミーティング室2	22㎡	12人	ホワイトボード
		ミーティング室3	28㎡	18人	ホワイトボード
		幼児プレイルーム	50㎡	—	幼児用絵本、おもちゃ、ビデオ付テレビ等
	3階	和研修室	33㎡	—	茶道用道具（有料）
		洋研修室	33㎡	12人	—
		陶芸教室	39㎡	24人	作業台、電動ろくろ等陶芸工具
		木工教室	39㎡	8人	卓上糸鋸盤等木工具
		美術教室	80㎡	35人	チャートハンガー、各種画材用具等、プロジェクションテレビ
	4階	書道教室	66㎡	32人	チャートハンガー、プロジェクションテレビ
		中研修室	116㎡	60人	ホワイトボード、スクリーン、プロジェクター
		パソコン教室	66㎡	20人	パソコン21台、プリンター、スクリーン、プロジェクター
		ボランティア室	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン
		ミーティング室4	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン
		ホスト室	66㎡	—	—
	5階	講師控室	28㎡	—	—
		スタジオ（控室）	116㎡	—	グランドピアノ（有料）
		ミーティング室5	58㎡	26人	ホワイトボード
ミーティング室6		21㎡	12人	ホワイトボード	
講義棟	1階	試写室	66㎡	18人	プロジェクター、DVDプレーヤー、16ミリ映写機等
		校長室	40㎡	—	—
		応接室	40㎡	—	—
		事務室	75㎡	—	（高校事務室、総務課）
		所長室	40㎡	—	—
		振興課	80㎡	—	—
		会議室	121㎡	63人	—
		小会議室	64㎡	32人	—
印刷・準備室	64㎡	—	—		

建 物	階別	室 名	面積	定員	主 要 設 備 内 容
講 義 棟	2階	教 員 室	160㎡	—	—
		コ ン ピ ュ ー タ 室	40㎡	—	—
		印 刷 室	40㎡	—	—
		保 健 室	66㎡	—	—
		進 路 指 導 室	54㎡	—	—
		生 徒 会 室	43㎡	—	—
		総 合 実 践 室	163㎡	—	パソコン 42台
		休 養 更 衣 室	80㎡	—	—
		教 育 相 談 室	40㎡	—	—
		放 送 室	40㎡	—	—
	自 習 室	80㎡	—	—	
	3階	CR(クラスルーム)× 6	64㎡	40人	—
		社 会 科 教 室	120㎡	40人	ホワイトボード
		コ モ ン ホ ー ル	80㎡	—	自動販売機、洗面台
		ロ ッ カ ー ル ー ム	80㎡	—	—
	4階	CR(クラスルーム)× 6	64㎡	40人	—
		生 物 教 室	120㎡	40人	—
		化 学 教 室	121㎡	40人	—
	5階	CR(クラスルーム)× 2	64㎡	40人	—
		L L 教 室	120㎡	40人	LLシステム
音 楽 教 室		117㎡	40人	グランドピアノ、CD等音響機器	
被 服 教 室		121㎡	40人	—	
	調 理 教 室	120㎡	40人	—	
交 流 棟	1階	展 示 ス ペ ー ス	200㎡	—	生涯学習センター総合案内、展示パネル、展示ケース
		交 流 口 ビ ー	220㎡	80人	プロジェクションテレビ
	2階	親と子の読み聞かせ広場	80㎡	—	—
		みんなのひみつ基地	77㎡	—	—
		視 聴 覚 コ ー ナ ー	3㎡	—	DVD用ブース
		情 報 閲 覧 コ ー ナ ー	144㎡	—	—
		学 習 相 談 コ ー ナ ー	80㎡	—	生涯学習情報提供システム公開端末機
図書・ブラウジングコーナー	160㎡	—	—		
体 育 館・ ホ ー ル	1階	武 道 場	336㎡	—	—
		リ ハ ー サ ル 室	93㎡	—	—
		楽 屋 1	12㎡	—	洗面台、丸椅子、コートハンガー
	楽 屋 2	25㎡	—	洗面台、丸椅子、コートハンガー	
2階	ア リ ー ナ	896㎡	500人	可動椅子500席(有料)、各種音響・照明設備、プロジェクションテレビ、OHC	
学 生 食 堂	1階		314㎡	220人	鳥城高等学校専用
喫 茶 棟	1階		132㎡	64人	(喫茶ばる)
グラウンド			7,273㎡	—	夜間照明
テニスコート			1,254㎡	—	オムニコート2面
駐 車 場		立 体 ・ 平 面	1,751㎡	—	普通車180台、大型バス4台、身体障害者用1台
		芝 生	976㎡	—	普通車29台、身体障害者用3台
人 と 科 学 の 未 来 館 サイピア	1階	科学体験・学習広場	237㎡	—	液晶プロジェクター、大型モニター、スクリーン他
		プロデュースセンター	70㎡	—	ホワイトボード他
		親子サイエンスルーム	33㎡	—	幼児用絵本、おもちゃ、各種遊具他
	2階	企 画 展 示 室	101㎡	—	液晶プロジェクター、スクリーン他
サイエンスドーム		176㎡	132人	投影機他	

3 令和5年度事業体系

人材育成とネットワークづくり

◇基礎研修	・生涯学習・社会教育関係職員研修講座初任者研修
◇実践型指導者養成	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーション・コーディネーションスキルアップ講座 ・【新】主体的に参画する住民を育てる事業づくり ・若者発！まちプロ ・【新】高校生×地域 ー思いをカタチにするお手伝いをしますー ・公民館長・職員研修 ・地域学校協働活動推進員等レベルアップ講座 ・就学前の非認知能力育成支援のための人材養成研修会 ・すこやか家庭教育相談員養成講座・子育てサポータースキルアップ講座

生涯学習情報の発信と学習支援

◇情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ばるネット岡山の管理と運営 ・企業発！みらプロ ・おかやま子ども応援人材バンク
◇生涯学習大学	・連携講座
◇学習相談	・相談業務の充実と広報
◇広報	・HP、Facebook等による発信
◇教材の活用と提供	・視聴覚教材、機材

「学び・交流の場」としての機能充実

◇発表、展示、体験、交流	<ul style="list-style-type: none"> ・京山祭 ・企画Labの運営 ・施設ボランティアの活動支援
◇生涯学習大学	<ul style="list-style-type: none"> ・主催講座「きっず☆ユニバ」「ボランティア・スタート講座」 ・生涯学習の集い
◇学び直し	・学びingばる教室（学び直し推進事業）
◇生涯学習団体等への貸出	<ul style="list-style-type: none"> ・情報/創作棟（研修室、会議室）の活用 ・交流棟の活用（展示、発表）

市町村・公民館支援、調査研究

◇市町村支援	・生涯学習・社会教育よろず相談（市町村コンサルティング）
◇公民館活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館連合会研修 ・公民館職員が選ぶ！講座アワード ・市町村出前講座事業
◇調査研究	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習・社会教育にかかわる調査・研究 「障害者の生涯学習に関する調査・研究」

科学教育の推進

◇サイピアの運営支援	<ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリウムプログラム ・科学実験教室 ・学校学習利用の促進 ・企画展示
◇JAXA連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育支援（授業支援、教職員研修） ・社会教育支援（宇宙の学校、コスミックカレッジ）

4 令和5年度 主な事業計画

1 人材育成

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
生涯学習・社会教育関係職員研修講座 初任者研修	生涯学習・社会教育行政の推進に必要な基礎的な知識・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質の向上を図る。また、職員間のネットワークづくりを支援する。	生涯学習・社会教育推進担当者で勤務年数が少ない方、基礎的な知識を学びたい方等	5月～11月	117千円
ファシリテーション・コーディネーションスキルアップ講座	生涯学習・社会教育関係者が自らの事業に生かせるよう、その重要な要素となるコーディネーションやファシリテーションに焦点を当て、事業推進のキーパーソンとしての意識や能力の向上を図る。また、関係者のネットワークづくりを図る。	市町村行政担当者、公民館職員、NPO等生涯学習・社会教育団体関係者、地域学校協働活動関係者、首長部局(まちづくり等)等	9月	360千円
【新】主体的に参画する住民を育てる事業づくり	地域住民が主体的に関わり地域の学びと活動を活性化することができるように、地域課題を把握し解決するための事業を企画・立案・実践し、社会教育に携わる関係者の資質の向上を図る。	市町村の生涯学習・社会教育担当職員、関連する機関・団体の職員、NPO等	6月～令和6年1月	269千円
若者発！まちプロ	県内の地域づくりの第一線で活躍している方とところへインターンに行き、実践型研修をとおして自らの思いを実現するための自主性・行動力を身につけることで、それぞれの地域や学校で活躍する人材の育成を図る。	県内大学生等	6月～10月	604千円
【新】高校生×地域－思いをカタチにするお手伝いをします－	高校生の発想を生かした地域課題の解決に繋がる事業を企画・運営することができるよう、生涯学習センター振興課員が、高校生、市町村行政担当部署、企業やNPO等の団体のコーディネーターや助言等を行い、高校生が主体となる社会教育事業の推進を図る。	市町村生涯学習・社会教育担当部署、公民館(年間1市町村)	4月～11月	250千円
岡山県公民館連合会研修	持続的な地域づくりを担う公民館活動の推進に向けた研修を行い、職員や市町村公民館担当者の資質の向上を図る。	公民館職員・市町村教育委員会公民館担当者	5月～令和5年1月	県公連予算で対応
地域学校協働活動推進員等レベルアップ講座	地域学校協働活動推進員や市町村担当者などが必要とするコーディネーター力、ファシリテーター力等の資質・能力の育成・向上を目的とする。	地域学校協働活動推進員または推進員として活躍が期待される方、市町村教育委員会担当者・社会教育関係職員	7月～11月	183千円
就学前の非認知能力育成支援のための人材養成研修会	非認知能力の育成に特に重要な時期とされる就学前の子どもたちへの関わり方を保護者等が学べるように「就学前の非認知能力育成プログラム」を家庭教育講座等で進行できるファシリテーターの育成を図る。	子育て支援者(子育て関係NPOの職員、家庭教育支援チームのメンバー、親プロファシリテーター、民生委員)、教職員等	6月～令和6年1月	378千円
すこやか家庭教育相談員養成講座・子育てサポータースキルアップ講座	すこやか家庭教育相談員の養成と資質向上、また、家庭教育支援関係者、子育てサポーター等のスキルアップを図るため、乳幼児期から少年期の家庭教育に関する専門的知識の習得を目指す。	すこやか家庭教育相談員、市町村関係職員、社会教育・学校教育関係職員等の家庭教育支援関係者、子育てサポーター・子育て支援団体・グループのリーダー等で市町村から推薦を受けた方	10、11月	84千円

2 学習情報の発信

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
生涯学習情報提供システムの管理と運営	「ばるネット岡山」システムを活用し、学習情報提供の充実を図る。		年間	運営費で対応
生涯学習情報の収集・整理	コンピュータネットワークで提供する「講座・イベント情報」「講師・ボランティア情報」等の更新と情報量の充実を図る。		常時	運営費で対応
企業発！みらプロ	社会教育主事がコーディネーターとして相談・助言を行いながら、企業の資源を生かした「学習」と「社会」をつなぐ子どもの「学びの場」の1つとして、地域貢献活動を行いたい企業とプログラムを協働して作成することで、企業等が教育の観点から積極的に参画する社会づくりを推進する。	学校・公民館等で地域貢献活動を行いたい企業（2企業）	年間	175千円
おかやま子ども応援人材バンク	企業・団体等が有している専門的な知識や経験などを学校教育や休日・放課後等における教育活動に取り入れ、子どもの豊かな学びや成長を支援する仕組みづくりを推進する。	県民一般	年間	運営費で対応
生涯学習大学	県の特性を生かした講座を開設するとともに、多様な学習講座を体系化し情報提供する。さらに、学習成果を評価することにより、生涯学習の一層の振興を図る。 (主催講座) 生涯学習センターが主催する講座 ・ボランティア・スタート講座 ・きっず☆ユニバ (連携講座) 他の行政機関及び民間が主催する講座	県民一般 定員 20名 定員 100名 定員 講座ごとに設定	年間	3,408千円
生涯学習の集い	岡山県生涯学習大学の受講生に対し、証書の授与や学習成果発表の場を提供するとともに、生涯学習フォーラムを開催し、県民一般の生涯学習の普及・啓発を図る。	受講生 県民一般	令和6年 2月	
学習相談	学習相談員が面談、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールで、生涯学習に関する相談に応じる。	県民一般	常時	運営費で対応
情報・図書資料の収集・整理	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供する。	県民一般	常時	運営費で対応
視聴覚コーナーの整備・運営	専用ブースで、郷土に関する映像や映画、アニメーション等を提供する。	県民一般	常時	581千円
視聴覚教材・機材の整備・貸出	視聴覚教材や機材の整備・貸出等を行い、学習活動を支援する。	県内の団体	常時	運営費で対応
視聴覚教育の普及・広報活動	視聴覚教材新着リストを作成し、一般への視聴覚教育の普及と視聴覚教材の利用促進を図る。	教材利用団体	随時	運営費で対応
センターだより（情報誌）等の発行	センターの事業等を紹介するために、要覧、リーフレット、情報誌等を作成し、関係機関等に配布する。	県民一般 関係機関	要覧 年1回 情報誌 年1回 リーフレット随時	運営費で対応

3 「学び・交流の場」としての機能充実

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
京山祭	生涯学習センターの施設の一部を開放し、体験や遊びのコーナーを設け、家族や仲間とのふれあいや交流の場を提供する。	県民一般	6月、12月	互助助成事業予算で対応
発表・展示・交流	展示スペース、交流ロビー等を生涯学習の成果の発表の場として提供する。	生涯学習関連団体、 県民一般	随時	運営費で対応
施設ボランティアの活動の促進	自己実現及び社会参加を目的に、自発的、自主的なボランティアとしての活動を促し、生涯学習センター、人と科学の未来館サイピアの運営機能の活性化を図る。	県民一般	年間	運営費で対応
企画Labの運営	社会貢献への思いをもった方や講座修了生等実践の場を提供するとともに、県民に対しての出会い・交流の場を提供する。 ・交流棟での活動 等			
イベントの運営補助	各種イベント等の運営補助、出展ブースの企画・運営等の活動の場を提供する。 ・宇宙の学校 ・サイピアサイエンスショー ・京山祭 等			

5 令和4年度事業実績

1 人材育成

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
生涯学習・社会教育関係職員研修講座 初任者研修	令和4年5月17日	生涯学習・社会教育の推進に必要な基本的な知識の理解・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質向上を図った。 ◆第1回（岡山市新任公民館職員研修と兼ねる。） 【講義】「基礎から学ぶ生涯学習・社会教育」 講師 岡山大学学術研究院教育学域副研究科長・副学部長 教授 熊谷 慎之輔 【説明】「岡山県の社会教育行政の現状」 説明者 岡山県教育庁生涯学習課 総括副参事 佐野 俊貴 【ワークショップ】「地域のミリョク」 岡山市立一宮公民館 主任（社会教育主事）坪井 玲子 岡山市立南公民館 主任（社会教育主事）藤田 友望 岡山市立富山公民館 主任（社会教育主事）花房 聡子 岡山市立京山公民館 主任（社会教育主事）柏崎 希	65名
	令和4年11月10日	◆第2回 【講義】「出会いをチカラに、想いをカタチに～社会教育の魅力と可能性～」 講師 井原市教育委員会 学校教育課主幹 兼 生涯学習課主幹 岡山県教育委員会 夢育アドバイザー 藤井 剛 【ワークショップ】「自館における事業紹介や業務の現状」	44名
ファシリテーション・コーディネーションスキルアップ講座	令和4年9月29日～9月30日	生涯学習・社会教育関係者に必要なコーディネーションやファシリテーションのスキルに焦点を当て、事業推進のキーパーソンとしての意識や能力の向上を図った。 ◆1日目 【講義・演習】「コーディネートの全体像・ファシリテーションの技法」 講師 株式会社いるむすび 代表取締役 古林 拓也 ◆2日目 【講義・演習】「コーディネーションの技法①②③」 講師 株式会社いるむすび 代表取締役 古林 拓也	24名
社会教育実践専門講座	令和4年6月14日	生涯学習・社会教育関係者を対象に、地域のつながりづくりや課題解決に向けた事業・講座づくりをとおして、実践的・専門的な知識の習得、資質向上を図った。令和4年度のテーマは、「子どもと創る 未来のふるさと ～小中学生を核とした地域づくり～」 ◆第1回 【講義】「小中学生を核とした地域づくり ～みんなでつくろう！わくわくする場～」 講師 熊本大学大学院先端科学研究部 准教授 田中 尚人 【実践発表】 「オラが村のリーダーさん。～上北条ゲームリーダー養成講座～」 講師 倉吉市上北条コミュニティセンター 主事 朝倉 夏 「このまちにくだらしたいプロジェクト ～中学生がつくる30年後の未来のために今できること～」 講師（公益）広島市文化財団安公民館 主事 為政 久雄	11名
	令和4年7月13日	◆第2回 【講義】「小中学生を核とした地域づくり ～みんなでつくろう！新しい時代のふるさと～」 講師 熊本大学大学院先端科学研究部 准教授 田中 尚人 那覇市繁多川公民館 館長 南 信之介 （株）タウンキッチン 取締役 西山 佳孝 【演習】「小中学生を核とした事業・講座の作成・見直し」	14名
	令和5年1月11日	◆第3回 【実践発表・振り返り】 講師 熊本大学大学院先端科学研究部 准教授 田中 尚人	8名
若者発！まちプロ	令和4年6月26日 令和4年7月23日 令和4年8月～9月 令和4年10月10日	地域活動に興味・関心をもつ大学生等を対象に、地域づくりの第一線で活躍している方とところで実践型研修を行い、地域づくりの現状に触れるとともに、自らの思いを実現するための自主性、行動力を身につけることで、地域や学校で活躍する人材の育成を図る。 ◆第1回 【団体視察研修】 ○実施団体の紹介、参加者自己紹介 ○参加者と団体のマッチング 【事前オンライン研修】 ○現地研修に向けての事前準備 ○団体の活動や背景をつかむためのテーマディスカッション ◆第2回【事前研修ワークショップ】 ○テーマ「地域がかかえている課題をどのようにまちづくりに活かすか」 ◆第3回【実践トライアル研修】 ○現地団体の活動に参加 ○現地団体の活動として実践 ◆第4回【振り返り研修】 ○実践トライアルで学んだことや実践したことの振り返りと発表	10名

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
現代的課題の解決に向けた研修プログラム開発講座	令和4年6月30日	地域における現代的課題を把握し、その解決を目指して主体的に関わる人づくりのための研修プログラムを計画・立案することで、市町村の社会教育行政職員に求められる資質・能力の向上を図った。 ◆第1回 【講義】「現代的課題の解決に向けた社会教育行政の役割」 講師 大分大学大学院教育学研究科 教授 清國 祐二 センター長 清國 祐二 【演習】「現代的課題を扱った事業計画の立案1」（課題抽出と分析） 講師 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター 社会教育調査官 石津 峰	8名
	令和4年8月25日	◆第2回 【演習】「現代的課題を扱った事業計画の立案2」（事業計画の立案） 講師 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター 社会教育調査官 石津 峰	6名
	令和4年9月22日	◆第3回 【発表】「現代的課題を扱った事業計画の発表」 講師 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター 社会教育調査官 石津 峰	9名
岡山県公民館連合会研修	令和4年5月19日	公民館が地域の重要な拠点として、豊かな地域づくりやそれを担う人づくりを推進するために、公民館館長及び職員を対象とした研修を行い、資質能力の向上を図った。 ◆第1回 【講義】「公民館職員の腕まくりで人と地域を結ぼう ー社会教育機関としての公民館ー」 講師：京都府立大学公共政策学部 准教授 田所 祐史	51名
	令和4年6月15日 (県北会場)	◆第2回 【講義】「これからの公民館に求められるもの」 講師：国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 全国体験活動ボランティア活動総合推進センター コーディネーター 馬場 祐次朗	(県北)13名
	令和4年6月23日 (県南会場)	【演習】「『公民館職員のための事業計画ハンドブック』を使った事業づくり」 瀬戸内市牛窓町公民館 館長補佐 長尾 幸 吉備中央町吉川公民館 主事 木林 りみ子	(県南)20名
	令和4年9月2日	◆第3回 【事例発表】 「倉敷市民講座」あまり食材使い切り！美味しいフードロス対策 講師 倉敷市福田公民館 「お花の銀行ボランティア育成プロジェクト」講師 岡山市立東公民館 「やってみん掲示板」講師 あわくら会館 【演習】「描こう！地域の『夢』を育むストーリー ～これから取り組む“人づくり・つながりづくり”～」	37名
	令和4年12月1日 (A・B日程) 令和4年12月8日 (C日程) 令和4年12月15日 (D日程) 令和5年1月24日	◆第4回 【意見交換】「研究集会分科会を視聴して地域の『夢』を育む公民館活動について語り合おう」 ◆第5回 【表彰式】第6回「公民館職員が選ぶ！講座アワード」表彰式 【講演】岡山県公民館連合会70周年記念講演 「公民館って面白い！？公民館の魅力とは！？ ～全国の公民館をめぐって～」 講師：公民館大好き芸人 ユーチューバー わさびちゃん 公益社団法人全国公民館連合会 事務局次長 村上 英己	(A)21名 (B)18名 (C)23名 (D)12名 47名
地域学校協働活動推進員等レベルアップ講座	令和4年7月14日	地域学校協働活動に関係する地域学校協働活動推進員や市町村担当者などが必要とするコーディネータ、ファシリテータ等の資質・能力の育成・向上を図った。 ◆第1回 【講演】「コミュニティ・スクールが繋ぐ新たな学校・地域のカタチ」 講師 広島県府中市教育委員会学校教育課 主幹 文部科学省CSマイスター 宮田 幸治 広島県府中市コミュニティ・スクール連絡協議会会長 広島県府中市府中明郷学園学校運営協議会 会長 立石 克昭 【講義】「地域の特性を活かす地域学校協働活動の企画と計画」 講師 CPDI代表総務省地域力創造アドバイザー 内閣府地域活性化伝道師 三角 幸三	51名
就学前の非認知能力育成支援のための人材養成研修会	令和4年11月9日	子育て支援者等を対象に講義・演習を行い、非認知能力を伸ばすための子どもへの関わり方を保護者等が学べるように「就学前の非認知能力育成プログラム」を進行できるファシリテータの養成を図った。 ◆第1回 【講義・演習】「保護者向け研修の体験」 講師 県生涯学習センター振興課員	28名
	令和4年12月6日	◆第2回 【講義・演習】「なぜ、今非認知能力なのか」 講師 県生涯学習センター振興課員 【講義】「非認知能力の伸ばし方」 講師 岡山大学教育推進機構 准教授 中山 芳一 【講義・演習】「非認知能力を伸ばすための仕掛けについて考える」 講師 県生涯学習センター振興課員 【講義・演習】「ショートワークの実践」 講師 県生涯学習センター振興課員	36名
	令和5年1月19日	◆第3回 【講義・演習】「ショートワークの実践」 講師 県生涯学習センター振興課員	35名

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
すこやか家庭教育相談員養成講座・子育てサポータースキルアップ講座	令和4年10月7日	すこやか家庭教育相談員の養成と資質向上、また、家庭教育支援関係者、子育てサポーター等のスキルアップを図り、乳幼児期から少年期の家庭教育に関する専門的知識を習得した。 ◆第1回 【講義】「子育ての現状について ～新型コロナパンデミック3年目を問い直す～」 講師 山陽学園大学 特任教授 日本ベスタロッチ・フレーベル学会 常任理事 濱田 栄夫 【講義】「眠りの脳科学 早ね早おき朝ごはんで元気モリモリ、やる気グングン、 笑顔ニコニコ！グッスリ パッチリモグモグ大作戦！」 講師 川崎医療福祉大学医療福祉学部 教授 保野 孝弘 【講義】「子育て・親育ちへの支援」 講師 NPO法人子ども達の環境を考える「ひこうせん」 代表理事 赤迫 康代	22名
	令和4年10月13日	◆第2回 【講義】「発達に課題を有する子どもたちとのつきあい方」 講師 ノートルダム清心女子大学人間生活学部児童学科 准教授 土居 裕士 【講義】「スマホ・ネットの身近なトラブル ～1人1台タブレット時代のリスクと家庭のルール～」 講師 就実大学人文科学部 非常勤講師 筒井 愛知 【講義】「食事の選び方と食の記憶」 講師 岡山県栄養士会 管理栄養士 岡山ビジネスカレッジ 非常勤講師 人見 典恵	24名
子どもほっとライン相談員養成講座	令和4年5月15日	新規の学生相談員を養成するため、子どもを取り巻く問題、電話相談の基本的な在り方、カウンセリングに関する知識・技術の習得及び資質の向上を図った。 ◆第1回 【オリエンテーション】 講師 岡山県民生活部男女共同参画青少年課 総括副参事 中塚 光輝 【講義・演習】「電話相談の歴史・原則」 「子どもほっとラインの対応12の原則」 講師 就実大学 講師 林 秀樹 【講義・演習】「メール相談への対応」「メール相談の紙上訓練」 講師 岡山大学 教授 東條 光彦 【講義】「いじめ、虐待等の訴えに対する対応」 講師 岡山県中央児童相談所子ども支援課 総括副参事 廣澤 伸泰	31名
	令和4年5月26日	◆第2回 【事例検討会①、②】「子どもほっとラインの事例から考える」 講師 ノートルダム清心女子大学 教授 中内 みさ	30名
	令和4年5月29日	◆第3回 【講義・演習】「電話における対応困難事例『性の電話』『頻回電話の対応』」 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 日下 紀子 【演習】「電話相談での『傾聴』の意義とスキル」 講師 川崎医療福祉大学 教授 武井 祐子 【講義】「相談業務について」「相談内容の実際」 講師 電話相談員（調査研究委員） 原 実穂、石井 千晶	30名

2 学習情報の発信

事業名	実施期間	内 容 等
生涯学習情報提供システムの管理と運営	年 間	「ばるネット岡山」を活用し、講座・イベント、団体、講師等や「おかやま子ども応援人材バンク」の情報等、最新の生涯学習情報を提供するとともに、視聴覚教材のインターネット貸出予約を実施した。
生涯学習情報の収集・整理	年 間	ネットワークで提供する「講座・講演情報」「視聴覚教材情報」「講師・ボランティア情報」「子ども向け情報」「子育て支援情報」等12分類の情報収集・整理に努めた。「講師・ボランティア情報」「学習プログラム情報」の更新を、県・市町村・各種団体等と連携して行った。
企業発！みらプロ	年 間	企業の資源を生かした「学習」と「社会」をつなぐ子どもの「学びの場」の1つとして、社会教育主事がコーディネートし、企業と学習プログラムを協働して作成し、企業等が教育の観点から積極的に社会づくりに参画することの推進を図った。 ◆2企業 ◆プログラム内容 小学校5年社会「工業生産とわたしたちの暮らし」 中学校2年美術「私の色 みんなの色」
おかやま子ども応援人材バンク	年 間	企業・団体が有している専門的な知識や経験などを学校教育や休日・放課後等における教育活動に取り入れ、子どもの豊かな学びや成長を支援する仕組みづくりを推進した。
生涯学習大学<連携講座>	年 間	行政機関及び民間等が主催する講座を連携講座として協力いただいた。 講座数 575 講座 連携機関 95 機関
学習相談	年 間	学習相談員が視聴覚教材の貸出実績に基づくニーズの分析をしたり、「おかやま子ども応援人材バンク」の相談事例を分野毎に整理したりすることで、生涯学習に関するさまざまな個別の相談に応じた。
情報・図書資料の収集・整理	年 間	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供した。
視聴覚コーナーの整備・運営	年 間	郷土に関する映像やアニメーション映画等を提供した。

5 科学教育の推進

JAXAとの連携事業

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
学校教育支援	授業支援	JAXA宇宙教育センターの担当者と学校教員が連携して宇宙教育理念を生かした教科授業を行った。 <指定校>津山市立向陽小学校 ◆第1回 【内容】ロケットが安定した姿勢で真っ直ぐ遠くまで飛ぶための条件について傘袋ロケットを用いて考える。 講師 JAXA宇宙教育推進室 主事 高村 苑実	29名
		◆第2回 【内容】宇宙・航空に関する職業である宇宙飛行士に必要な能力であるコミュニケーション能力に着目して、チームで力を合わせることやコミュニケーション力を高める大切さについて考える。	34人
		<指定校>赤磐市立石相小学校 ◆第1回 【内容】環境問題について児童が資料を集めて検証した結果や自分たちができることを考えて発表した後、JAXAの収集したデータやそれらを活用したより深い見方を知ることにより、新たな視点で考えられることに気付く。 講師 JAXA宇宙教育推進室 主事 高村 苑実 【教職員研修】宇宙教育の理念と授業で活用できる教材について研修する。 講師 JAXA宇宙教育推進室 主事 高村 苑実	14名
			13人
教員研修支援	令和4年9月21日	JAXAと連携し、小学校、中学校、高等学校を通じた理科の基礎的・基本的な内容について観察や実験を体験しながら学ぶとともに、地域や校種間の連携を深め、指導力の充実と資質の向上を図る。 【講義】「物理における『夢育』と探求」 講師 岡山県総合教育センター 指導主事 坪井 民夫 指導主事 谷本 薫彦 【演習】「紙飛行機による探求体験」 講師 JAXA宇宙教育推進室 主事 高村 苑実 【演習・協議】「探求の視点を踏まえた授業づくりの検討」 講師 岡山県総合教育センター 指導主事 坪井 民夫 指導主事 谷本 薫彦 【実践発表】「物理への夢を育む理科教育」 講師 岡山県立玉野高等学校 教諭 藤田 学 岡山県立倉敷鷺羽高等学校 教諭 山村 寿彦 【協議】「物理における夢育～学ぶ意義の有用性を実感させる取組～」 講師 岡山県総合教育センター 指導主事 坪井 民夫 指導主事 谷本 薫彦	10人
社会教育支援	コズミック カレッジ	子どもたちの豊かな心を育み、好奇心、冒険心、匠の心を備えた創造的な青少年の育成を目的として、科学への関心や探究意欲を喚起する宇宙をテーマとした観察、実験、工作などの活動を行った。 【内容】「望遠鏡を手作りしてみよう」 ・望遠鏡の製作と扱い方の練習 ・2023年の天体現象と惑星についてのお話 講師 龍谷大学政策学部 教授 船田 智史	31名
	宇宙の学校	子どもたちの心に自然と宇宙と生命への限りない愛着を呼び起こし、好奇心・冒険心・匠の心を豊かに備えた明るく元気な子どもを育むことを目的として、宇宙や自然科学をテーマにした話と実験・工作などを行う。 第1回 【内容】・開校式 ・オリエンテーション ・かざぐるま ・熱気球 第2回 【内容】・かざぐるまロケット ・風見鶏 第3回 【内容】・ホバークラフト 第4回 【内容】・フィルムケースロケット ・レポート発表会 ・閉校式	30家族 27家族 26家族 18家族
	宇宙の学校指導 者セミナー	宇宙教育の指導者を目指している人や、「宇宙の学校」の講師・ボランティア・スタッフを希望する人のための研修会を開催し、宇宙教育の理念、「宇宙の学校」の意義、事業で用いる教材や指導方法等について研修する。 【内容】・「宇宙の学校」の概要 ・岡山県「宇宙の学校」で使用する宇宙教育教材の説明と演習	11名

6 施設設備の利用状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(ア) 情報・創作棟利用（施設貸出）

(件)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
視聴覚室	10	6	10	12	11	10	16	13	11	7	12	9	127
大研修室	26	30	27	30	11	23	21	23	23	23	24	13	274
中研修室	25	29	32	21	18	18	27	25	12	19	18	18	262
洋研修室	3	4	6	11	5	7	8	11	13	9	11	8	96
和研修室	5	6	5	7	6	7	5	5	8	7	7	6	74
ミーティング室1	13	16	17	24	17	17	22	18	20	20	14	14	212
ミーティング室2	20	20	18	23	18	18	19	18	18	16	13	15	216
ミーティング室3	12	16	15	23	17	18	21	18	16	16	12	20	204
ミーティング室4	22	14	17	21	19	18	16	19	15	19	13	13	206
ミーティング室5	32	31	27	25	18	23	24	20	19	20	24	24	287
ミーティング室6	24	22	23	28	23	22	24	20	22	19	20	25	272
美術教室	6	9	7	6	3	6	6	10	6	5	3	1	68
木工教室	5	6	6	4	3	6	5	8	5	5	4	2	59
陶芸教室	5	6	7	6	3	4	5	9	5	6	2	1	59
書道教室	16	19	18	12	13	14	17	16	14	13	13	18	183
パソコン教室	2	0	1	5	8	2	3	0	0	3	3	0	27
ボランティア室	17	20	17	19	20	10	14	13	14	15	15	15	189
スタジオ（控室）	10	11	9	13	11	21	22	14	14	9	9	9	152
試写室	10	5	7	12	6	7	2	7	2	3	4	5	70

(イ) 交流棟利用（施設貸出）

(日)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
交流棟展示スペース	23	18	9	18	4	18	16	15	17	20	16	12	186

(ウ) 人と科学の未来館サイピア利用（施設貸出）

(件)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイエンスドーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
科学体験・学習広場	0	7	17	14	4	24	32	24	4	2	5	6	139
企画展示室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロデュースセンター	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	11

(エ) 人と科学の未来館サイピア利用（施設入館等）

(人)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイピア入館者数	6,897	12,040	7,866	9,615	12,145	7,792	9,306	8,931	5,294	5,765	5,741	7,018	98,410
サイエンスドーム観覧者数	2,048	3,253	2,753	3,826	4,793	2,942	4,351	3,184	1,726	1,706	2,084	2,584	35,250

7 生涯学習情報提供システム（ばるネット岡山）

データ保有数

(令和5年3月31日現在)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数
講座・イベント	4,441	団体・グループ	45	講師・ボランティア	158	学習プログラム	108
視聴覚教材	6,086	おかやま子ども応援人材バンク	119	合 計			10,957

8 学習相談件数

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

種類	件数	種類	件数	種類	件数	合計
講座・団体・講師	35	施設・設備	433	図書・DVD	77	792
視聴覚教材	36	おかもや子ども応援人材バンク	9	学習プログラム・その他	202	

9 視聴覚コーナー

(ア) ソフト保有本数 (DVD)

(令和5年3月31日現在)

種類	件数	種類	件数	種類	件数	合計
郷土	25	アニメ	214	洋画	116	1,039
邦画	123	教養	98	その他	463	

(イ) 利用状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

種類	DVD教材
回数	169

10 視聴覚教材コーナー

(ア) 保有本数

(令和5年3月31日現在)

DVD教材	ビデオ教材	16ミリ映画	合計
1,039	3,229	1,692	5,960

(イ) 貸出状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

施設設備名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用本数(本)	DVD教材	15	33	34	23	21	22	30	25	10	26	15	21	275
	ビデオ教材	0	0	4	0	0	2	3	1	2	1	0	1	14
	16ミリ映画	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	計	15	33	38	25	21	24	33	26	12	27	15	22	291
閲覧者数(人)	DVD教材	2,148	2,232	7,767	1,427	503	1,224	1,736	3,389	1,441	3,522	2,173	1,481	29,043
	ビデオ教材	0	0	280	0	0	10	210	5	300	150	0	150	1,105
	16ミリ映画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,148	2,232	8,047	1,427	503	1,234	1,946	3,394	1,741	3,672	2,173	1,631	30,148

11 図書・ブラウジングコーナー

図書所蔵冊数

(令和5年3月31日現在)

区分	冊数	区分	冊数	区分	冊数
一般図書	25,737	購入雑誌	18タイトル	購入新聞	6紙

6 関係条例及び規則

岡山県生涯学習センター条例

〔平成8年12月24日〕
岡山県条例第39号

(目的及び設置)

第1条 県民の生涯にわたる学習活動(次条において「生涯学習」という。)の振興を図るため、岡山県生涯学習センター(以下「センター」という。)を岡山市に設置する。

(業務)

第2条 センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 生涯学習指導者の養成及び生涯学習関係者の研修
- (2) 生涯学習に関する情報の収集及び提供並びに生涯学習相談
- (3) 生涯学習に関する講座の開設
- (4) 生涯学習に関する調査及び研究
- (5) 科学に関する学習の機会の提供
- (6) センターの施設及び設備(以下「施設等」という。)の提供
- (7) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的の達成に必要な業務

(開所時間及び休所日)

第3条 センターの開所時間及び休所日は、教育委員会規則で定める。

(指定管理者による管理)

第4条 センターの管理に関する業務のうち次条に規定する業務は、第13条第1項の規定により岡山県教育委員会(以下「教育委員会」という。)が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 施設等の維持管理に関すること。
- (2) 施設等の利用の許可に関すること。
- (3) 施設等の提供に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの運営に関し教育委員会が必要と認める業務

(利用等の許可)

第6条 センターにおいて次に掲げる行為をしようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

- (1) 別表の1から3までに掲げる施設等の利用
- (2) サイエンスドームにおける天体運行等の投影の観覧

2 指定管理者は、センターの管理上必要な範囲内で前項の許可に条件を付することができる。

3 指定管理者が別に定める観覧券により観覧しようとする者については、第1項第2号の観覧に係る許可を受けたものとみなす。

(入所の制限等)

第7条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、センターへの入所を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) 公共の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがある者
- (2) 施設等を損傷するおそれがある者
- (3) 施設等の利用が、集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある団体の利益になると認める者
- (4) その他センターの管理上支障があると認める者

(許可の取消し等)

第8条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、第6条第1項の許可を取り消し、若しくはその条件を変更し、又は行為の中止、原状回復若しくはセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則又はこれらの規定に基づく処分に違反している者
- (2) 偽りその他不正な手段により第6条第1項の許可を受けた者
- (3) 第6条第2項の条件に違反している者

2 指定管理者は、施設等に関する工事のためその他公益上やむを得ない必要が生じたときは、第6条第1項の許可を受けた者(次条において「利用者」という。)に対して、同項の許可を取り消し、又はその条件を変更することができる。

(利用料金)

第9条 第6条第1項の許可を受けた行為に係る料金(以下この条において「利用料金」という。)は、指定管理者にその収入として収受させる。

2 利用料金は、別表に掲げる基準額に0.5を乗じて得た額から当該基準額に1.5を乗じて得た額までの範囲内の額で指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

3 利用者は、指定管理者に利用料金を前納しなければならない。ただし、指定管理者が別に納期を定めたときは、この限りでない。

4 指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を受け、利用料金を減免することができる。

5 納付した利用料金は、返還しない。ただし、利用者の責めに帰することができない理由により許可を受けた施設等を利用することができなくなったときその他指定管理者が相当の理由があると認めるときは、この限りでない。

(職員)

第10条 センターに、所長その他必要な職員を置く。

(指定管理者の公募)

第11条 教育委員会は、指定管理者の指定をしようとするときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該指定を受けようとするものを公募するものとする。ただし、特別の理由がある場合は、この限りでない。

(指定管理者の指定の申請)

第12条 指定管理者の指定を受けようとするものは、センターの管理に係る事業計画書その他教育委員会規則で定める書類を添えて、教育委員会に申請しなければならない。

(指定管理者の指定)

第13条 教育委員会は、次の各号のいずれにも該当するもののうちから最も適当と認めるものを指定管理者として指定するものとする。

- (1) 事業計画の内容が住民の平等な利用を確保することができるものであること。
- (2) 事業計画の内容がセンターの機能を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を安定して行うことができるものであること。
- (4) その他センターの業務を効果的に行うため教育委員会が必要と認める基準に適合するものであること。

2 教育委員会は、前項の規定による指定をしたときは、その旨を告示するものとする。

(事業報告書の提出)

第14条 指定管理者は、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

(業務報告等)

第15条 教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対して、当該管理の業務又は経理の状況に関し報告を求め、実地について調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第16条 教育委員会は、指定管理者が前条の指示に従わないときその他当該指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。

2 教育委員会は、前項の規定による指定の取消しをしたときは、その旨を告示するものとする。

(教育委員会規則への委任)

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この条例は、令和2年4月1日から施行する。

岡山県生涯学習センター条例別表（第6条、第9条関係）

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| 1 施設（情報創作棟施設、人と科学の未来館サイピア施設） | } (表略) |
| 2 冷暖房設備（情報創作棟冷暖房設備、人と科学の未来館サイピア冷暖房設備） | |
| 3 設備金額（液晶プロジェクター等） | |
| 4 観覧料（人と科学の未来館サイピア観覧料） | |

岡山県生涯学習センター条例施行規則

平成8年12月24日
岡山県教育委員会規則第19号

(趣 旨)

第1条 この規則は、岡山県生涯学習センター条例(平成8年岡山県条例第39号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開 所 時 間)

第2条 岡山県生涯学習センター(以下「センター」という。)の開所時間は、次のとおりとする。

区 分		開所時間
児童遊園地		午前9時から午後5時まで
その他の区域	火曜日から土曜日まで(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)を除く。)	午前9時から午後9時まで
	日曜日及び休日	午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、岡山県教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、開所時間を臨時に変更することができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

(休 所 日)

第3条 センターの休所日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が休日に当たるときを除く。)
- (2) 休日の翌日(その日が休日でない火曜日から金曜日までに当たるときに限る。)
- (3) 12月28日から翌年の1月4日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、休所日に開所し、又は臨時に休所日を定めることができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

(天体運行等の投影の回数等)

第4条 サイエンスドームにおける天体運行等の投影の回数及び開始時刻は、指定管理者(条例第4条に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)が教育委員会の承認を受けて定めるものとする。

(利用の許可の申請)

第5条 条例第六条第一項の規定により、条例別表に掲げる施設又は設備(以下「施設等」という。)の利用の許可又は許可を受けた事項の変更の許可を受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(利用者等の遵守事項)

第6条 条例第六条第一項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。利用者の行う行事等のために入所する者も、同様とする。

- (1) 利用の許可を受けた施設以外の施設に立ち入らないこと。
- (2) 利用の許可を受けた設備以外の設備を利用しないこと。
- (3) 火災、盗難等の事故の発生予防に留意すること。
- (4) センターの職員又は指定管理者の指示に従うこと。
- (5) その他教育委員会又は指定管理者が必要と認める事項

(損壊の届出等)

第7条 利用者は、施設等を損壊し、又は滅失したときは、直ちに教育委員会又は指定管理者に届け出てその指示に従わなければならない。

(利用の終了の届出)

第8条 利用者(条例第6条第1項第2号の観覧に係る許可を受けた者を除く。)は、施設等の利用を終了したときは、速やかに指定管理者に届け出なければならない。

(視聴覚教材等の貸し出し)

第9条 視聴覚教材及び視聴覚機材の貸し出しは、生涯学習の目的のために利用する場合に限り、行うものとする。

2 前項の貸し出しを受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(そ の 他)

第10条 この規則に定めるもののほか、センターの管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会、所長又は教育委員会の承認を受けて指定管理者が別に定める。

附 則

この規則は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

施設等利用料金表

(令和2年4月1日改定)

<情報・創作棟施設・設備利用>

(単位：円)

区分 施設・設備等(定員・面積・階)				9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:00	9:00～ 17:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00	冷房 (1時間当)	暖房 (1時間当)
視聴覚室	72人	261㎡	1F	5,500	7,400	5,500	14,600	14,600	21,900	650	540
大研修室	150人	261㎡	2F	5,200	6,900	5,200	13,700	13,700	20,500	650	540
中研修室	60人	116㎡	4F	2,100	2,800	2,100	5,800	5,800	8,600	270	220
洋研修室	12人	33㎡	3F	900	1,200	900	2,300	2,300	3,400	80	60
和研修室	8畳	33㎡	3F	600	800	600	1,600	1,600	2,500	80	60
ミーティング室①	18人	28㎡	2F	600	800	600	1,600	1,600	2,400	70	50
ミーティング室②	12人	22㎡	2F	500	600	500	1,300	1,300	1,900	50	40
ミーティング室③	18人	28㎡	2F	600	800	600	1,600	1,600	2,400	70	50
ミーティング室④	18人	40㎡	4F	800	1,000	800	2,000	2,000	3,000	90	80
ミーティング室⑤	26人	58㎡	5F	1,100	1,400	1,100	2,900	2,900	4,300	130	110
ミーティング室⑥	12人	21㎡	5F	500	600	500	1,200	1,200	1,800	50	40
美術教室	35人	80㎡	3F	2,900	3,800	2,900	7,700	7,700	11,500	390	310
木工教室	8人	39㎡	3F	1,000	1,300	1,000	2,600	2,600	3,800	90	70
陶芸教室	24人	39㎡	3F	800	1,100	800	2,100	2,100	3,200	90	70
書道教室	32人	66㎡	3F	1,200	1,600	1,200	3,200	3,200	4,900	150	130
パソコン教室	20人	66㎡	4F	3,100	4,100	3,100	8,200	8,200	12,200	150	130
ボランティア室	18人	40㎡	4F	800	1,000	800	2,000	2,000	3,000	90	80
スタジオ(控室)	—	116㎡	5F	2,100	2,800	2,100	5,800	5,800	8,600	270	220
試写室	18人	66㎡	5F	1,400	1,900	1,400	3,700	3,700	5,600	150	130
放送設備				一式1時間につき 380円(交流棟に保管しているもの)							
資料提示装置				一式1時間につき 140円(大研修室)							
液晶プロジェクター				一式1時間につき 230円(大研修室)							
茶道具				一式1時間につき 710円(和研修室)							
ピアノ				一式1時間につき 1,010円(スタジオ)							
陶芸窯				一台1時間につき 920円							

<人と科学の未来館サイピア施設利用>

区分 施設・設備等(定員・面積・階)				9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:00	9:00～ 17:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00	冷房 (1時間当)	暖房 (1時間当)	
サイエンス ドーム	132席	176㎡	2F	投影装置を使用する場合	51,100	68,100	51,100	136,200	136,200	204,300	1,200	1,130
				投影装置を使用しない場合	8,900	11,900	8,900	23,700	23,700	35,500	1,200	1,130
科学体験・学習広場	—	237㎡	1F	5,800	7,700	5,800	15,500	15,500	23,200	410	310	
企画展示室	—	101㎡	2F	2,100	2,900	2,100	5,700	5,700	8,500	170	130	
プロデュースセンター	—	70㎡	1F	1,800	2,300	1,800	4,700	4,700	7,000	120	100	

※12:00～13:00及び17:00～18:00の使用料の額は13:00～17:00の使用料額の1/4の額とする。(10円未満切り上げ)

※1時間未満の時間は1時間として計算する。

冷房期間：6月1日～9月30日、暖房期間：12月1日～3月31日

特例期間：上記冷暖房期間の前後2週間程度(工事などのため、冷暖房の利用ができない場合がある。)

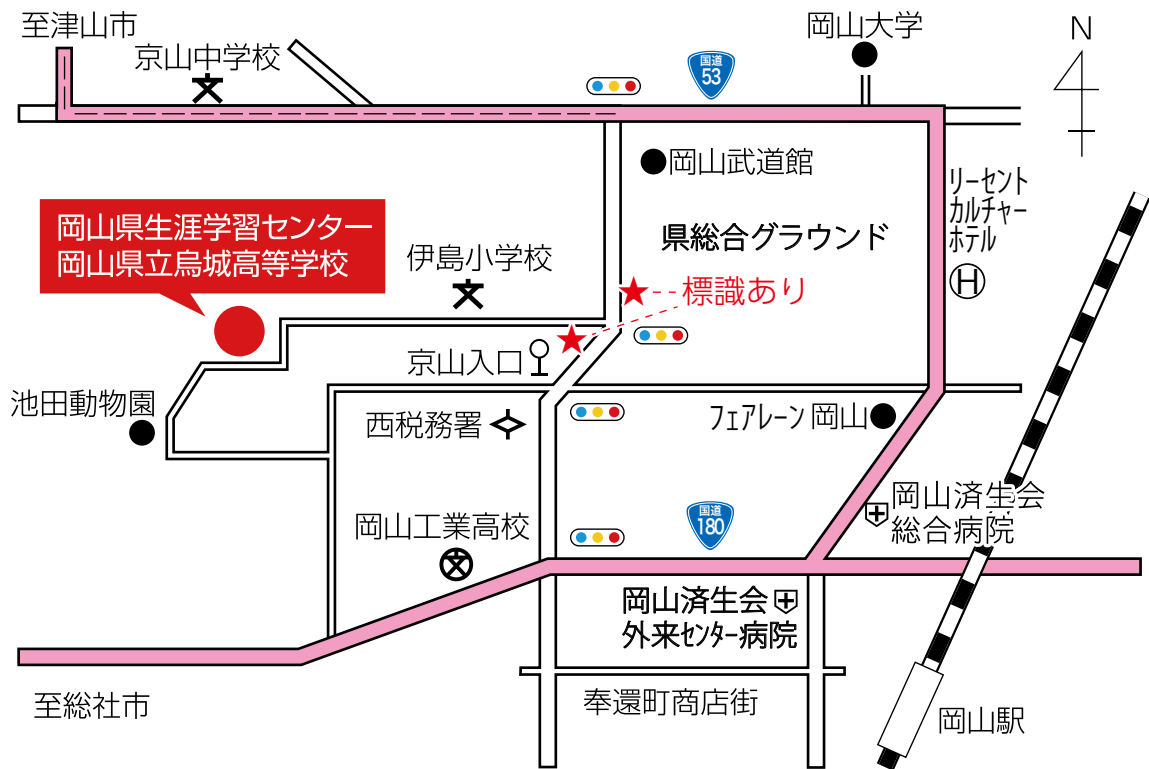
<人と科学の未来館サイピア観覧料>(1人1回につき)

(令和5年4月1日改正)

区分	観覧料	割引料金
一般(65歳未満)	530	団体480
一般(65歳以上)	320	団体270
高校生	310	団体250
小学生・中学生	110	団体90/ももっこ80
小学生未満	無料	無料

※友の会会員は年度内無料、団体利用(30名以上)及びももっこカード利用による観覧の場合は割引料金を適用する。ただし、特別投影及びイベント等を除く。

交通案内



- 車** ・JR岡山駅運動公園口(西口)から約5分 ・山陽自動車道岡山I.Cから約10分(伊島小学校前西進つきあたり)
- バス** ・岡電バスJR岡山駅運動公園口(西口)から中央病院線京山入口下車 徒歩8分(所要時間約13分)
- 徒歩** ・JR岡山駅運動公園口(西口)から約25分(1.7km)

※ナビで「岡山県生涯学習センター」が見つからないときは、「岡山県立烏城高等学校」で入力してください。

開所時間

火曜日～土曜日：午前9時 から 午後9時 まで
日曜日・祝日：午前9時 から 午後5時 まで

休所日

月曜日(その日が祝日に当たるときを除く。)
祝日の翌日(その日が祝日でない火曜日から金曜日までに当たるときに限る。)
12月28日 から 翌年1月4日 まで

お問い合わせ

- 総合案内 (施設・視聴覚教材等予約) ☎086-251-9788 fax 086-251-9781
- 総務課 ☎086-251-9750 fax 086-251-9757
- 振興課 ☎086-251-9751
- 学習相談 ☎086-251-9758
- 人と科学の未来館サイピア ☎086-251-9752 fax 086-251-9780



生涯学習マスコット
「マナビ」

発行

岡山県生涯学習センター

〒700-0016 岡山市北区伊島町三丁目1番1号

ばるネット岡山 検索



<https://www.pal.pref.okayama.jp/>
<https://www.facebook.com/okasyogaise/>